recycle & TOKYO
第 589 号
印刷・株式会社資源新報社
東京都千代田区神田駿河台2-9-18 萬水ビル6F
ＴＥＬ03-5843-9350

東京資源界報

ホームページアドレス　http://www.toushikyo.or.jp

東京都資源回収事業協同組合
〒101－0061 千代田区神田三崎町２－21－1
TEL03（3263）3676
発行人　武田誠一郎
編集人　仲條嘉高
発行日　令和5年10月31日

東資協顧問の件等について
10月度理事会報告

【武田理事長挨拶】

皆さんこんばんは。お疲れの所理事会に御出席頂きましてありがとうございます。やっと秋らしくなってきました。今週は藤井聡太さんが八冠独占と素晴らしい偉業を成し遂げました。藤井さんが八冠を達成することができたのはやはりご本人の努力の賜物なので、我々もそれ以上に険しい道ですけれども努力しながら回収業界を盛り上げて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

各委員会からの報告

【総務委員会】

▽東資協顧問の件
・都民ファーストの会東京都議団幹事長　たきぐち学氏が東資協の顧問として新たに就任した。

▽多摩拡大理事会開催の件
・11月10日（金）18：30～理事会　19：00～懇親会　ホテルエミシア東京立川に於いて開催する。
・役割について　開会挨拶：上村副理事長、理事長挨拶、司会：福田副理事長、乾杯挨拶：吉崎理事、中締挨拶：佐々木理事

▽選考委員会開催の件
・第1回選考委員会を9月29日（金）に開催した。出席：村瀬会計理事、紺野委員長、平井委員長、仲條委員長、松本委員長、土井青年部長

▽令和6年度国家予算・税制改正等要望聴取会の件
・10月5日（木）15：40～自民党本部を訪問し要望をおこなった。出席：武田理事長、上村副理事長、紺野総務委員長、土井青年部長、東資協事務局

▽東京都功労者表彰の件
・受賞：那須野相談役
受賞式 10月2日（月）於：都庁庁舎

▽中央会表彰の件
・受賞：鰐渕専務理事
受賞式 10月16日（月）於：銀座ブロッサム

▽環境局勉強会の件
・東京都環境局資源循環推進部の実施する区市町村職員向け勉強会に紺野総務委員長が講師として出席予定。

「厳島の紅葉と鹿」

【財務委員会】

報告事項：
▽東資協ガソリン価格
・東資協カード（1日～15日）ハイオク181・17円 レギュラー170・17円 軽油141・88円（別途利用手数料1リットル＝1円が請求されます）

▽資源会館メンテナンスの件
・1階菜の屋ガス内管改修工事実施。
・3階302号室に避難梯子を設置。
・3階トイレへのウォシュレット設置について。

▽東京資源会館入居者募集の件
・光星建物サービス株式会社　10月13日～入居

▽インボイス制度開始の件
・10月1日～インボイス制度開始に伴い 領収書記載事項等の確認注意。

▽事務処理規定の件
・電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規定の施行を開始。

▽AIG損保保険の件
・組合員加入により本部へ手数料収入がありとの事、再度確認し契約を進める。

【広報委員会】

▽活動報告
・たきぐち顧問に東資協顧問就任挨拶を依頼した。
・久保島顧問にインボイスについて記事の寄稿を依頼した。
・鰐渕専務理事に北区リサイクラーエコー広場運営について寄稿を依頼した。
・大久保氏（奥山商店株式会社）に青年部入部挨拶寄稿を依頼した。

▽活動予定
・10月度広報委員会は10月24日（火）に開催予定。委員会終了後に資源界報589号最終校正を実施する。
・東京資源界報589号は10月下旬に発行を予定。

【業務委員会】

▽古紙対策部会
・非発生期に加え、不安定な天候が続き非常に古紙の集まりは悪い。為替の影響とタイとマレーシアで古紙パルプ設備が立ち上がる事から古紙パルプ価格に引きずられる形で輸出価格は若干上昇している。問屋在庫がないので輸出価格に合わせての価格の上昇は見込めず、市況に大きな変化は無い。（9月28日）
・古紙3品目発生量＜前年同期比で新聞84・7％、雑誌81・2％、段ボール93・3％。
・10月発表東資協標準価格
新聞：6～11円、雑誌：2～5円、段ボール：5～8円、古布：1～6円、アルミ缶バラ：100～140円（すべて据え置き）

▽古紙輸出部会
・㈱トーチインターナショナルで実施

▽鉄・非鉄部会
・鉄スクラップ／堅調様子見で10月入り。市中発生・荷動き低調。
・銅スクラップ／内需不振で高値を敬遠。例年に比べ振れ幅の少ない展開。
・アルミスクラップ／需要回復で堅調感保つ。自動車大手の生産回復が本格化。
・その他／ステンレス：国内上昇で閉塞感が打開。

▽活動予定
・10月度業務委員会は10月24日（火）に開催予定。

【青年部】

▽報告事項：
・東多摩支部　奥山商店株式会社　小平本社所長　大久保一氏が青年部に入部。

▽活動報告
・9月17日（日）神奈川組合レクリエーション地曳網に参加した。参加者：土井青年部長、仲條顧問、水野会計、吉川幹事
・9月20日（水）東京都中小企業団体青年部協議会　講演会に出席。出席：土井青年部長、仲條顧問、尾花副部長
・9月22日（金）青年部納涼移動部会を開催した。
・9月27日（金）臨時青年部会を開催した。

▽活動予定
・10月27日（金）10月度定例部会を開催予定。
・10月28日（土）日資連青年部意見交流会が開催される。於：山水閣（茨城県龍ヶ崎市）
・11月11日（土）第5回関資連青年部大会埼玉大会が開催される。於：東天紅 JACK 大宮店
・日資連青年部西ブロック大会in福井が年明けに開催される予定。

【その他】

▽東リ協
・9月12日（火）第4回理事会　終了
・11月18日（土）第5回理事会　開催予定

▽東多摩再資協
・9月22日（金）東多摩再資源化事業協同組合創立30周年記念安全大会が開催された。

▽会合報告
・9月12日（火）東京公友会政経懇話会　出席：武田理事長
・9月16日（土）第4回理事会　終了
・11月18日（土）第5回理事会　開催予定

▽東多摩再資協
・9月22日（金）東多摩再資源化事業協同組合創立30周年記念安全大会が開催された。

▽会合予定
・10月17日（火）小松ダイスケ都政報告会　於：京王プラザホテル　出席：上村副理事長・林副理事長
・10月21日（土）千葉県資源リサイクル事業協同組合30周年記念式典　於：京成ホテルミラマーレ　出席：武田理事長、上村副理事長、林副理事長、福田副理事長
・11月9日（木）都民ファーストの会 ともに進める東京大改革　於：京王プラザホテル　出席：武田理事長

令和5年度東京都功労者表彰

このたび、那須野暉之氏が令和5年度東京都功労者表彰（産業振興功労）を受賞し、さる10月2日（月）東京都庁にて表彰式が行われました。おめでとうございました。

那須野氏は荒川区リサイクル事業協同組合の設立に大きな貢献を果たし、平成13年の設立から現在まで荒リ協の理事として同組合の発展に尽くされています。また東資協の副理事長を平成24年から平成26年にかけて務め、その後も相談役・理事として組合活動にご助力を頂いています。今回氏の功績が東京都における資源回収業の発展及び資源循環型の構築に大きく寄与したと評価されました。

表彰を受けた那須野相談役

【鰐渕専務理事メの挨拶】

東多摩再資協30周年本当におめでとうございます。30周年大会開催という事で組合がいかに団結して取り組んでいるかが本当によく見えました。先ほど新しい仕事とお話しましたが、北区では北区指定管理施設の管理運営業務という事を始めました。リサイクル施設というと他の方はペットボトルや缶を持ってきて選別する工場かなと思われるかもしれませんが、北区は全く違いまして、市民が運営するリサイクルの周知啓発拠点、これがエコー広場という存在になっております。30年長期間にわたりやっていたのですが今回からプロポーザルの公募となり私共にお話がありました。其方で私は館長ということになり現場からは離れて様々な取組を行っています。先日は東多摩支部の吉浦さんがご夫婦で、また荒川からは那須野さんが見学に来て下さいまして、本当にありがとうございます。精一杯物を集めることも必要だと思いますが、リサイクルについて色々周知しなければならないという事で取り組んでおります。北区エコー広場館で検索して頂ければHPやインスタグラムなど色々と出てくると思いますので、是非皆さんフォローして、いいねを押して頂いてご協力して頂きたいと思います。最後に宣伝になってしまいすみません。今月もどうもお疲れ様でした。

都議会予算要望の件など
９月度理事会報告ダイジェスト

【武田理事長挨拶】
皆さんこんばんは。台風13号が上陸するという事で本日はＷＥＢのみ開催の形になりました。会議前に話しましたが、この先どうなるのかという不安材料が出てきているのではないかと思ってお題がございますので忌憚のない意見をお願いいたします。

【総務委員会】
▽支部報告
・８支部からの報告あり
▽多摩拡大理事会の開催について
・11月10日（金）18：30～理事会　19：00～懇親会　ホテルエミシア東京立川に於いて開催する。
▽選考委員会開催の件
・第１回選考委員会を９月29日（金）19：00から開催予定。
▽東資協新顧問就任の件
・たきぐち学議員に顧問を依頼する際の委嘱状について検討した。
▽古紙再生促進センターの件
・同センターが作成中の「紙リサイクル中長期課題への取組」案に対する意見について検討。意見を先方に提出する。
▽東京都予算要望ヒアリングの件
・８月31日（木）15：00～都民ファーストの会、16：00～都議会公明党を訪問した。
参加者：武田理事長、上村副理事長、福田副理事長、紺野総務委員長、事務局
・９月５日（火）15：15～都議会立憲民主党、15：50～都議会自民党を訪問した。
参加者：武田理事長、上村副理事長、紺野総務委員長、土井青年部長、事務局

【財務委員会】
▽東資協ガソリン価格
・東資協カード（１日～15日）ハイオク１８７・77円　レギュラー１７６・77円　軽油１４７・38円（別途利用手数料１リットル＝１円が請求されます）
▽日資連賃貸契約書について
・先方契約者が日資連・関資連となっていた為、日資連のみに変更。
▽インボイス制度開始の件
・制度開始に関する通知について確認を行った。
▽東京資源会館入居者募集の件
・３０１号室入居者募集に際しての条件について検討した。⇓要相談とし、個別に対応する。
▽東京資源会館メンテナンスの件
・９月14日（木）に排水ポンプ電源・排気ファン交換工事を実施する。
▽活動報告
・９月度財務委員会を９月８日（金）に開催した。
・福利厚生部会を９月度財務委員会と同時開催。組合員の家族との親睦を図る事業について検討した。⇓組合全体でのボウリング大会は白紙とし、ブロックごとの食事会に助成を出す形式などを検討する。
【広報委員会】
・８月31日に東京資源界報５８８号を発行した。
・東京資源界報５８７号を東資協ＨＰにアップロードした。
・東京資源界報５８９号は10月下旬に発行を予定。
【業務委員会】
▽古紙対策部会
・製品の需要が弱く国内メーカーの古紙在庫も高水準が続いているため、価格をひき下げている。輸出価格も下がっているが円安の影響でそれほど下がっていない。市況は三品とも特に新聞、段ボールの価格を下げた問屋がみられた。（８月21日）
・古紙３品目発生量／前年同期比で新聞91・２％、雑誌96・８％、段ボール96・４％。
▽古紙対策部会
・９月発表東資協標準価格は上げ下げが交錯する展開。個別状況異なり調整的な動き
・銅スクラップ／輸出実績の増勢強まる
・アルミスクラップ／品薄でスソ物に上昇圧力。値上げ観察
・その他／ステンレス　深刻な内需不振で頭重い基調
【青年部】
▽活動報告
・第５回定例会を８月25日（金）に開催した。
▽活動予定
・９月17日（日）神奈川組合レクリエーション　地曳網　開催　於：殿網（神奈川県藤沢市）
・９月20日（水）東京都中小企業団体青年部協議会講演会　講師：マシンガンズ滝沢秀一氏
・９月22日（金）青年部納涼移動部会を開催予定　於：東京タワーハイボールガーデン
・11月11日（土）第５回関資連青年部大会埼玉大会
【上村副理事長〆の挨拶】
台風も千葉ではひどい状況とのことですが、都内では朝は凄かったですが現在は大丈夫そうです。今後気温がさがって体調を崩しやすくなると思いますので、皆さん体調の管理をよろしくお願いいたします。お疲れ様でした。

東資協顧問就任挨拶

都民ファーストの会 東京都議会議員
たきぐち学（がく）

この度、東京都資源回収事業協同組合の顧問にご推挙いただきました、都民ファーストの会東京都議団の幹事長を務めております、荒川区選出のたきぐち学（がく）です。

先般は、東資協の総会、日資連全国大会（東京大会）にもお招きいただき、会員の皆さまと交流する貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

５月に新型コロナが５類に移行し、社会経済活動も本格的に再開していますが、３年３ヵ月余のコロナ禍において、特に発生当初は、社会全体に大きな不安が広がる中で、エッセンシャルワーカーとして、ご尽力をいただいたことに心から感謝申し上げます。

また、２年前の東京オリンピック・パラリンピック大会においては、選手村や各会場で発生する瓶、缶、古紙などの回収を担っていただきました。中でも選手村の食堂で発生する段ボール古紙が多かった、とのお話も伺っており、改めて、皆さまのご協力のもと、大会を成功裏に終えることができたことに感謝申し上げます。

私の地元である荒川区の日暮里は、歴史的にリサイクルの事業者が多数存在しています。私が自転車で地域を飛び回っていると、トラックやパッカー車をはじめとする資源回収の車両も、街中を走り回っており、回収された資源が工場で処理されている光景が、日常です。物流は経済の血液、と言われますが、まさに静脈産業の血液がまちなかを流れていることを、日常的に体感しています。

また、私自身、政治の世界に入る前、市場調査の会社で紙・パルプ業界を担当しており、段ボール古紙、新聞古紙、雑誌古紙、いわゆる裾物３品と言われる市場動向などの取材を行うなど、会員の皆さまの事業を身近に感じているところです。

今後の都政における最重要課題のひとつが、「持続可能な社会」の実現であり、「循環型社会」をいかに構築することができるかです。

業界としての様々な課題を乗り越えながら、都が目指すべき社会に向かって、お力添えをいただきますことをお願い申し上げます。

結びに、武田理事長さまを先頭に、組合員の皆さまのご事業が発展されますことを心からご祈念申し上げ、顧問就任にあたっての挨拶とさせていただきます。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

選考委員会の設置などについて
８月度理事会報告ダイジェスト

【武田理事長挨拶】
皆さんこんばんは。お忙しいところおいで頂きましてありがとうございます。毎日暑い日が続きますので熱中症にならないように、水分・塩分補給してエッセンシャルワーカーとして頑張ってください。本日も議題は沢山ありますので忌憚のない意見をよろしくお願いいたします。

【総務委員会】
▽支部報告
・５支部からの報告あり。
▽多摩拡大理事会の開催について
・多摩ブロックでの合同開催を検討。
▽新年賀詞交歓会・叙勲発表会について
・令和６年２月３日(土)東京ガーデンパレスに於いて合同開催を予定。
▽役員改選に向けた選考委員会の設置について
・選考委員会メンバーを決定。
　村瀬会計理事・佐藤副会計理事・紺野総務委員長・平井財務委員長・仲條広報委員長・松本業務委員長・土井青年部長
【第51回日資連全国大会東京大会実行委員会】
▽大会収支の件
・最終的に５０，３０５円の赤字となった。
【財務委員会】
▽東資協ガソリン価格
・東資協カード（８月１日～15日）ハイオク１７４・35円　軽油１４６・06円
▽東京資源会館に関して
・３階３０１号室の入居者募集に関して
　アサップエステートとアースウィンドに依頼中。
　アースウィンド様より１Ｆ入口への広告掲示の申し出があった為、広告掲示を承認。
・豊栄美装より、日常清掃費用の値上げ要望があり承認された。
・清水電気管理事務所の９月末廃業に伴う後継業者の件。
　２社より見積をもらい、条件の良い小川電気管理事務所への委託を決定した。
・福利厚生部会・組合員の家族との親睦を図る事業について検討する。
【広報委員会】
・日資連全国大会写真について、ＵＳＢを利用した貸し出しを検討。
【業務委員会】
▽古紙対策部会
・インバウンド需要増が期待されたが重要の高まりは見えず、インフレによる購買意欲低下の影響の方が大きく古紙の需要は高まっていない。国内メーカーの生産も低調なのでメーカー・問屋共に大きな余剰がある。ただ発生が低調な為、価格についてはもちこたえている。（７月24日）
・古紙３品目発生量／前年同期比で新聞88・８％、雑誌88・７％、段ボール93・７％
・８月発表東資協標準価格
　新聞：６～11円、雑誌：２～５円、段ボール：５～８円、アルミ缶バラ：１００～１４０円（すべて据え置き）
▽古紙輸出部会
・東方物産株式会社で実施　５コンテナ
▽鉄・非鉄部会
・鉄スクラップ／目立った動きもなく様子見商状のまま８月入り
・銅スクラップ／為替の円安戻りが原因で、建値急伸
・アルミスクラップ／目立つ動きもなく、概ね横ばい
・その他／ステンレス　先高気配後退も品薄感残る展開
▽古布（古繊維）価格の発表について
・組合員よりご意見を頂いた為、次回より古布価格を発表する。
【青年部】
▽活動報告
・７月22日（土）日資連青年部意見交流会in岐阜が開催された。土井青年部長、仲條顧問が出席した。
・７月28日（金）第４回定例会移動部会in世田谷をCAL COFFEE CLUBに於いて開催した。
▽活動予定
・８月25日（金）第５回定例会納涼会を開催する。
・11月11日（土）第５回関資連青年部大会埼玉大会が開催される予定。
【佐々木理事〆の挨拶】
今日は立秋ということですが、まだまだ暑い日が続くかと思いますが体に気をつけて頑張って行きたいと思います。お疲れ様でした。

東資協から要望を提出

東京都予算要望ヒアリング

8月31日（木）に東京都議会自由民主党と都民ファーストの会東京都議団、9月5日（火）に都議会公明党と東京都議会立憲民主党による東京都予算要望ヒアリングが行われました。本年度東資協からは、熱中症予防・燃料人件費高騰・車両備品の環境対応等分野における資源回収業者に対する支援拡大、集団回収等の資源リサイクルシステム確立に対する支援拡大、禁忌品および分別強化に関する啓発活動に対する協力、都資源回収業務について要望を提出いたしました。

東京都議会自由民主党

都議会公明党

東京都議会立憲民主党

都民ファーストの会東京都議団

回収業者に対する支援等を要望

国家予算・税制改革等要望聴取会

10月5日（木）に自民党本部にて令和6年度国家予算・税制改革等要望聴取会が開催されました。

今回要望では資源回収業社に対する各種支援の拡大、資源リサイクルシステムの維持に対する支援の拡充、公共施設等の資源回収業務における東資協の活用についての要望を提出いたしました。また本年度は特にストーンペーパーや線香の箱など、雑がみに混入する禁忌品に対する啓発活動に対する支援・協力を要望いたしました。

武田理事長

紺野総務委員長

東資協役員

要　望　事　項

1．エッセンシャルワーカーとしての資源回収業者に対する支援、育成について
～熱中症予防対策、燃料・人件費等高騰対策、車両備品の環境対応、安全運転管理システムに対する支援が必要である～

資源回収業務は、「生活の維持に不可欠なエッセンシャルワーク」であり、コロナ禍中においても、近年相次ぐ気候変動による猛暑の中にあっても、日々休むことなく感染症対策、熱中症対策をしながら回収業務を続けてきた。最近では、市況の低迷による売り上げの減少、世界情勢不安による燃料資材価格の高騰、2024年問題や運転免許区分による中型車が運転可能な人員の不足と人件費の高騰、部品調達難による車両や重機の入手が困難な状況など、急激な社会情勢の変化にあっても、年度当初の契約の中で各組合員経営努力をしながら雇用を確保し、必要な車両設備を揃え、業務に当たっている。このような責任と負担の増加は、回収業者の経営の不安定化を招き、ひいては転廃業を余儀なくされるものも増えて行くほど危機的な状況となっている。また、近年の地価の高騰は、日本で一番地価の高い東京都内で事業を続けている資源回収業者にとって、駐車場や選別加工場所を確保する上で大きな負担となっている。また、安全運転に関して様々な支援装置が開発されているが、これらを導入していくにも更なる負担増が困難な状況である。こうした厳しい情勢の中でも、SDGsの目標達成に向け、各自治体と連携を図りながら環境対策、環境対応をしていかなくてはならない状況にある。

（要望内容）
エッセンシャルワーカーである資源回収業者が安心して業務を維持継続できるよう、あらゆる側面で都行政として区市町村と連携して回収業者に支援をされたい。
具体的には、市況の安定化対策と経営支援、空調服やスポットクーラーなどの熱中症予防対策、燃料資材・人件費等の高騰に対する対策、免許区分の限定解除等の費用の支援、固定資産税の減免措置、車両備品の環境対応や購入支援、安全運転支援システムの導入に関する助成などを要望する。

2．集団回収を始めとする資源リサイクルシステムに対する支援の拡充について
～安定的な資源リサイクルシステムの確立と集団回収業者に対する支援拡充の必要がある～

都内各地域で実施されている集団回収事業は、地域住民のコミュニティ確保の場であるとともに、資源リサイクルを通した持続可能な開発目標（SDGs）の最初の入り口である。その集団回収事業は、資源物の売払いと自治体からの助成金によって運営されている。古紙、古布、金属類、びん・カレットなどの資源物の循環は、全世界に亘る国際的な流通により成り立っているが、コロナ禍によるパンデミックやロシアによるウクライナ侵攻といった国際的な政情不安により、国内外の資源物の市況は乱高下を繰り返したり、需給バランスが崩れやすい状態であり、この先も出口が見えず不安定感を増す状況となっている。また、古紙や金属スクラップに関しては、相場の高騰により持ち去り問題や盗難被害が相次ぎ、古布に関しては、主要な輸出先が限られる上、輸入国の政策や経済状況に左右される状況である。
当組合は、令和元年後半からの古紙価格の暴落を受け、令和２年１月に「集団回収事業非常事態宣言」を発令し、多くの区市町村に対し、集団回収事業における業者助成金制度の新設及び増額をお願いしたが、未だに実現に至らない自治体もあり、回収業者の地域格差が拡がっている状況である。現在も日経古紙相場は未だ非常事態宣言時と変わらない状況にある上、古紙の発生減による売り上げの減少、コロナ禍による集団回収の形態の変化（ステーション回収や戸別収集化）による回収業者の負担増など、回収業者を取り巻く状況は決していい状況ではない

（要望内容）
持続可能な資源循環型社会の形成、維持を目指し、今後も起こりうる緊急事態による国際市況の変化に対応し、安定した資源リサイクルシステムを確保するために、集団回収事業を始め、資源回収に対する助成や支援を含めた政策の検討されたい。

3．国の関連施設におけるリサイクルしやすい素材の活用と分別に関する啓発活動への協力について

古紙は昔からリサイクルの優等生と呼ばれている。紙から紙という水平リサイクルは、江戸時代から事業として成り立つようになり、民間ベースで回収から加工、再生までのシステムが成立していた。30年ほど前から、ごみ減量を目的に行政が資源リサイクル事業の乗り出すようになり、我々資源回収業者も各市の『廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例』第16条に基づき、行政と一体となって古紙を始めとする資源回収システムを作り上げ、再資源化率の向上に寄与してきた背景もある。
近年、素材の多様化に伴い、ストーンペーパーや古紙を配合した複合素材など、様々な新素材が環境にやさしいことを訴えて開発されているが、既存のリサイクルルートに乗せることが困難であるだけでなく、禁忌品としてリサイクルの阻害要因にもなっている。
近年古紙の発生減少に伴い、可燃ごみに混入しているリサイクル可能な紙製品（雑がみ）の回収促進、紙製容器包装の回収とリサイクルに向けた取り組みを各地で進めていく中で、雑がみへの禁忌品の混入が増え、昇華転写紙、感熱発泡紙、線香の箱など臭いのきつい紙、ロウ引きされた紙など、再生紙製品への影響の大きい禁忌品類を始め、分別の強化に関する啓発活動を行政と共に行っているが、先述の新素材など禁忌品類は増えて行く一方である。

（要望内容）
持続可能な資源循環システムを維持するためには、再生品の活用促進が不可欠である。国として、改めて古紙を始めとする繰り返しリサイクル可能な再生製品の活用を促進するとともに、各自治体と連携し、雑がみや紙製容器包装の回収システム確立に向けた支援及び禁忌品の分別啓発に関する支援、協力を要望する。

4．東京都資源回収事業協同組合の活用について
～国の公共施設等における資源回収業務に当組合を活用されたい～

当組合は都内全域200弱の資源回収業者で組織する事業協同組合であり、都内全域で各自治体や地域住民と共に資源回収システムを構築・運用しており、東京都産業労働局より「recycle&TOKYO」のロゴの使用許諾を頂いている唯一の団体である。
東京都の資源回収は、分別回収を基本としたリサイクルシステムであり、排出者・回収業者それぞれが経済的合理性や利便性にとらわれず、互いに協力し合い成り立っている。江戸時代から続くリサイクルの心を具現化したものであり、一昨年開催された2020TOKYOオリンピック・パラリンピック競技大会の各開催施設においても、分別回収に対する都の姿勢を示すべく、資源回収事業に参加させて頂いた。

（要望内容）
今や世界基準となっている「持続可能な開発目標（SDGs）」の「つくる責任つかう責任」に対する日本国の姿勢と取り組みはさらに重要なものとなるため、国の公共施設等における資源回収業務に、実務及び窓口業務を担うことの出来る当組合を活用されたい。

10月1日よりインボイス制度開始

受領方法なども認識の統一必要

令和5年（２０２３年）10月1日からインボイス制度が始まりました。この「インボイス」とは、事業者間でやり取りされる消費税額等が記載された請求書や領収書等のことで、事業者が消費税の納税額を計算する際に必要となるものです。

インボイスは、売手から買手に対して正確な適用税率や消費税額等を伝えるために消費税額等が明記された請求書等をいいますが、具体的には、制度開始前に使用されていた請求書（以下「区分記載請求書」といいます。）に一定の記載事項が追加されたものになります。

区分記載請求書の記載事項は、次のとおりです。

・請求書の発行事業者の氏名または名称
・取引年月日
・取引の内容（軽減対象税率の対象品目である旨）
・税率ごとに区分して合計した対価の額
・書類の交付を受ける事業者の氏名または名称

インボイスは、区分記載請求書の記載事項に、次の3つが追加されます。

・登録番号
・適用税率
・税率ごとに区分した消費税額等

インボイスを交付することができる者は、税務署長から登録を受けた「インボイス発行事業者」（適格請求書発行事業者）に限られ、消費税を納める義務のある事業者（＝課税事業者）が登録を受けることができます。

また、売手は、買手（課税事業者に限ります。）の求めに応じてインボイスを交付し、その写しを保存しておく必要があります。一方、買手は交付されたインボイスを保存することで、仕入税額控除を受けることができます。

（1）売手（インボイス発行事業者）として登録を受ける必要があります

売手が、インボイスを交付するためには、税務署にインボイス発行事業者の登録申請書を提出し、「インボイス発行事業者」として登録を受ける必要があります。ただし、登録を受けることができるのは課税事業者だけですので、現在、免税事業者の場合は、まず、課税事業者になるための手続が必要となります

（2）買手（インボイスを受け取る側）としての準備

買手側の事業者は、仕入税額控除を受けるためには、インボイス等を保存しておくことが必要になります。そのため、請求書等を受領した際は登録番号の有無によって管理することや経過措置の適用を受けるために区分記載請求書の保存が必要になります。

また、仕入先の事業者がインボイス発行事業者でない場合、インボイスの交付を受けることはできません。継続的に取引を行う取引先については、インボイス発行事業者であるかどうかを確認することも考えられます。受け取るインボイスの様式や受領方法などについても必要に応じて確認し、認識を統一しておくことが必要です。

⇒※詳しくは国税庁「インボイス制度特設サイト」を閲覧ください

令和５年10月から始まったインボイス制度
古物商等の古物の買取り等の特例の解説

質問
当社は、中古車販売業（古物商）を営んでおり、事業者及び消費者から、中古車の仕入れを行っています。
インボイス制度（適格請求書保存方式）の下では、消費者からの仕入れは、消費税の仕入税額控除を行うことはできないのでしょうか？

答
1. 相手方が、インボイス（適格請求書）発行事業者以外の者の場合
① 古物営業法上の許可を受けて古物営業を営む古物商が、
② インボイス発行事業者以外の者から、
③ 同法に規定する古物（古物商が事業として販売する棚卸資産に該当するものに限ります。）を買い受けた場合には、
④ 一定の事項が記載された帳簿のみの保存で、仕入税額控除が認められます。

2. 相手方が、インボイス（適格請求書）発行事業者の場合
インボイスの交付を受け、それを保存する必要があります。

3. 上記の1.以外でも、インボイス発行事業者以外の者から仕入れを行う次の場合も、上記の1.と同様に、仕入税額控除のために保存が必要な請求書等を受け取ることが困難な場合であるとして、一定の事項が記載された帳簿のみの保存で、仕入税額控除が認められます。
① 質屋の場合・・・・以下省略
② 宅地建物取引業者の場合・・・・以下省略
③ 再生資源卸売業その他不特定多数の者から「資源の有効な利用の促進に関する法律」に規定する再生資源及び再生部品を購入する事業を営む者が、インボイス発行事業者以外の者から、再生資源及び再生部品（購入する事業者が事業として販売する棚卸資産に該当するものに限ります。）を購入する場合

以上は、国税庁のホームページの、「インボイス制度に関するＱ＆Ａ」の問106に詳細が記載されています。興味のある方は、ご覧ください。

地曳網体験に参加

神奈川県資源回収商業協同組合青年部主催

残暑の中、湘南の鵠沼海岸で

9月17日日曜日。9月も後半なのに残暑厳しい真夏日の暑い暑い日。神奈川県資源回収商業協同組合の青年部主催レクリエーションである地曳網に、東資協も声をかけていただき参加させていただきました。

場所は鵠沼海岸。江の島水族館前の海で行いました。

お世話になったのは殿網さん。

調べてみたらこんなことが書いてありました。

「湘南江の島で地曳網を操業して１４０年。神奈川が「相模の国（別称＝相州）」と呼ばれていたその昔、初代船頭達が、地曳網で獲った魚をあまねく相模の国のお殿様に献上していたというのが『殿網』の由来」

１４０年！だそうです。

必死に網を引っ張る

参加者揃って記念撮影

エイやフグ、イカなども！

ＴＨＥ海の男！といった方々が海から戻ってきて、みんなで船の後ろにある網を引っ張ります。子供も大人も必死になって引っ張りました。

すると網の中からパシャパシャと見えるものが。

漁師さんがブルーシートの上に魚を広げて説明してくれました。

なんと大きなエイや毒のあるフグ、それにイカまで！

見たことのないような魚もたくさんで、ひとつひとつ説明していただき、それは大変貴重な経験でした。

残念だなって思ったのは、その中にはペットボトルやビニール袋などの沢山のゴミがあったことです。

きちんと持ち帰り、ルールを守り、自然を守らないといけないなと改めて感じました。

神奈川県の青年部の皆さんが焼きそばやお肉、採れた魚を焼いてくださり、それを海の目の前のしかも外で食べるのは格別で、楽しく美味しく充実した時間を過ごさせていただきました。

砂まみれになって海で遊び、日焼けして、ドロドロで帰宅しました。

神奈川県のレクリエーションもコロナ禍で開催できず、4年ぶりだったそうです。

東京都でも何か企画をしたいねと皆で話していました。

個人的に、地曳網はやってみたかったこと№1であり、しかも海が大好きで、湘南は頻繁に行く大好きな場所なので、そこで皆さんと楽しむことができて、とてもいい思い出となりました。

（吉川）

HINO DUTRO
HINO Hybrid
日野デュトロ ハイブリッド 塵芥収集車

南関東日野自動車株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋 5-18-1　TEL:03-3578-3955　FAX:03-3578-3950

東多摩再資源化事業協同組合
理事長　吉浦 高志
＊ 地域密着の旬な情報をホームページで発信しています。
＊ 組合機関紙「ヴィーナス通信」送付ご希望の方はFAXでお申し込み下さい。
〒189−0003
東京都東村山市久米川町１−１６−１８
電　話 042−395−9788
URL：http://www.h-recycle.or.jp/

TOYOTA L&F
物流の未来を支えるフォークリフト
gene B
この国の物流を、
あたらしく
うつくしく。

トヨタL&F東京株式会社　清瀬テクノセンター
東京都清瀬市中里3-1724-1
TEL:042-494-4531　FAX:042-494-4535
http://www.toyota-lf-tokyo.co.jp

移動定例部会を開催

下北沢 CAL COFFEE CLUB にて

対面で有意義な意見交換

東資協青年部は7月28日（金）、土井青年部長の経営する下北沢 CAL COFFEE CLUB にて移動定例部会を開催し、青年部員6名が集まった。土井部長からカフェのドリンクをごちそうになりながら、今後の納涼会、勉強会についての審議を行った。青年部もリモート会議が中心で、あまり対面で会う機会がなかったため、とても有意義な意見交換をすることができた。その後、会場を移動して、世田谷リサイクル協同組合青年部の三浦部長と追川副部長が合流。お酒を交わしながら交流会を行った。行政回収や集団回収についての話や、後継者の問題、人材不足などについて意見交換を行い、有意義な時間を過ごすことができた。

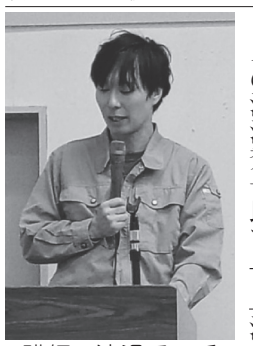
今後の納涼会などについて審議

中央会青年部講演会に参加

講師はお笑い芸人の滝沢秀一氏

東京都中小企業団体青年部協議会は、9月20日（水）東京都中小企業会館9階にて青年部講演会を開催し、東資協青年部からは3名が出席した。講師はゴミ収集会社で清掃作業員としても働いているお笑い芸人マシンガンズの滝沢秀一氏で、「SDGsを自分ごとに！ゴミ問題から考える環境経営」をテーマに行われた。

冒頭、野島会長から挨拶があり、今回の講演会の開催にあたり、東資協の岩窪氏に尽力いただいたこと、各単組の方々が集まるこの機会に是非交流を深めていただきたいということが述べられた。その後、司会より講師の経歴が紹介され、講演会が始まった。


講師の滝沢秀一氏

講演の内容

① 自身の経歴　11年前からゴミ清掃員として働き始め、当初は全く興味がなかったが同期の芸人たちが活躍する姿をテレビで見ながら、このままではひな壇に座れないと思い、日本一の清掃員になろうと決意。ゴミの分別などについての周知活動を始め、SNSなどで発信をはじめた。

② ゴミは生活の縮図　ゴミ清掃員をするうちに、出されたゴミを見れば出した人の人間性がわかるようになってきたということをスライドで解説。高級住宅街から出るゴミと一般的な家庭から出るゴミの違いなども面白く語った。

③ フードロスの問題　東京都中小企業団体青年部協議会は、9月20日（水）東京都中小企業会館9階にて青年部講演会を開催し、東資協青年部からは3名が出席した。講師はゴミ収集会社で清掃作業員としても働いているお笑い芸人マシンガンズの滝沢秀一氏で、「SDGsを自分ごとに！ゴミ問題から考える環境経営」をテーマに行われた。

冒頭、野島会長から挨拶があり、今回の講演会の開催にあたり、東資協の岩窪氏に尽力いただいたこと、各単組の方々が集まるこの機会に是非交流を深めていただきたいということが述べられた。その後、司会より講師の経歴が紹介され、講演会が始まった。

講演の内容

① 自身の経歴　11年前からゴミ清掃員として働き始め、当初は全く興味がなかったが同期の芸人たちが活躍する姿をテレビで見ながら、このままではひな壇に座れないと思い、日本一の清掃員になろうと決意。ゴミの分別などについての周知活動を始め、SNSなどで発信をはじめた。

② ゴミは生活の縮図　ゴミ清掃員をするうちに、出されたゴミを見れば出した人の人間性がわかるようになってきたということをスライドで解説。高級住宅街から出るゴミと一般的な家庭から出るゴミの違いなども面白く語った。

③ フードロスの問題　可燃ごみの回収をするなかで、新米の時期になると未使用の古米がそのままゴミで出されたり、お中元などの食品が封を切らずに捨てられたりしているのを目の当たりにし、フードロスについて考えさせられ、仲間と一緒にフードバンクなどの活動を行うようになった。

滝沢氏の講演は、お笑い芸人ということもあり、清掃員の日常をユーモアに語り、ゴミは生活の縮図であるとして、出されたゴミから出した人のことを推測したりするとともに、ゴミの出し方のアドバイスをしてくれた。ゴミ清掃員の広報活動もされているということで、どうしたらこの業界に人材を採用することができるかと質問をさせていただくと、やはり賃金を上げることが大事だということと、この仕事の魅力をどんどん発信していくことが大事だと回答いただいた。我々も自分の仕事の事をしっかり考え、外部に発信していくことが大事だと考えさせられた　（N）。

今後も各単協さんを回らせてもらい、意見交換ができたら良いと思った。合青年部の皆様、ありがとうございました。（N）

青年部

コロナ禍以来の納涼会開催

食後は東京タワーで都心の夜景楽しむ

9月22日、青年部納涼会が東京タワーハイボールガーデンにて開催されました。参加メンバーは、青年部員7名と上村副理事長、オブザーバーとして八王子支部から(株)第一資源の天井昭彦さんが来てくれました。当日は残念ながら雨が降っていましたが、久しぶりの納涼会ともあり和気藹々とした良い雰囲気でした。会話の内容もどちらかといえば砕けた内容で楽しくお酒を飲みジンギスカンを食べ、楽しい時間を過ごすことができました。

和気藹々とした久しぶりの納涼会

食後は世田谷・渋谷支部の玉山さんの計らいで東京タワーのメインデッキまでみんなで昇りました。私自身は約20年ぶりの東京タワーでしたが、東京都の夜景を一望し、下からでは決して見ることができない東京の大きさと美しさを堪能することができました。

コロナ禍以来の久しぶりの現地での納涼会となりましたが、ZOOMでの納涼会も悪くはないのですが、やはり直接会って部員の皆さんとの交流を深めることができ感慨深いものを感じることができました。また来年もこのような納涼会ができることを願っております。（SAI）

製紙原料直納問屋

合資会社　豊田八郎商店

代表社員　豊田大八

東京都大田区久が原二―二―十一
TEL〇三(三七五四)二六〇六
FAX〇三(三七五四)二六〇七

世田谷リサイクル協同組合

≪リサイクル それは地球へのおもいやり！≫

理事長　行史臣浩志平淳
副理事長　貞貴隆京靖正
副理事長　本邊屋山葉村田
副理事長　松渡土玉千中山
専務理事
監事

〒154-0017
東京都世田谷区世田谷4-2-15 小見山ビル2F
TEL(03)5451-3450 ・FAX(03)5451-3452

新宿区リサイクル事業協同組合

代表理事　小池　茂男
副理事　露木　勝
専務理事　田口　武
監事　小池　幸恵

〒160－0022
東京都新宿区新宿1丁目12番12号
㈱小池商店　本社内
電話03（5363）3196
カミリサーイクル
FAX03（5363）3197

東多摩支部
奥山商店㈱　大久保一さん
青年部入部挨拶

東多摩支部・奥山商店株式会社の大久保と申します。

今までに何度かイベント等に参加させていただいておりましたが、この度東資協青年部に正式に入部させて頂くことになりました。

恥ずかしながら勉強不足もあり、この業界の事も分からない事だらけでございますが、青年部の活動を通して学ばせて頂ければと思っております。皆様のご指導を宜しくお願いいたします。

「エコー広場館」紹介

リサイクルに関する様々な取組を実施

北区リサイクラー事業協同組合専務理事　鰐渕雄二郎

北区には「エコー広場館」という区民の為のリサイクル施設があります。北区エコー広場館条例では「リサイクル活動の場を提供することにより、リサイクル生活文化の振興を図るため設置する」とあります。

今から約30年前、田端に富士見橋エコー広場館がオープン。区民のリサイクル活動拠点として地域住民が中心となって進められた活動は、他地域からも大変注目を浴び毎週のように視察団が訪れ、TVでも取り上げられました。その後さらに活動の場所は広がり区内に4か所設置されました。

リサイクルという言葉が少し聞かれるようになったこの時代。区内にビン・缶のステーション回収をひろげ、給食残渣のたい肥化、廃食油から石鹸の製造など当時としては画期的な取り組みをいち早く実践した北区は「リサイクル先進区」と言われていました。

時が経ち、昭和に生まれたリサイクル文化は平成に入り「３Ｒ」に、令和に入るとそれらを含めた「SDGs」活動へと時代が目まぐるしく変化していきました。エコー広場館に期待される役割も年々増加していき「区民へのリサイクル情報発信基地」として区や国の取り組みを紹介する等周知啓発活動の強化、目新しい取り組みへの積極的な参加などが盛り込まれ、今年度から施設の運営を公募（プロポーザル）する事になり、北区リサイクラー事業協同組合が指定管理者として指名されました。

展示されている環境配慮商品

資源を回収する事を目的として立ち上げた北区リサイクラー事業協同組合。北区での委託業務が少なくなっていくことはそのあと。生まれ変わった資源、製品を消費者が選んでくれない事だと考えます。

リサイクルや環境問題に特化した資料室

それらを手に取り使用してはじめて循環と言えます。まだまだ安い物を選ぶ時代、それに対抗するには多少高くても選んでもらえるデザイン性や利便性などの付加価値が必要になります。最近は企業の努力が素晴らしく、手に取りたくなる商品が多く開発されています。当館ではそれらの商品を集め展示販売し、使いやすさなどをYouTubeで紹介しながら「環境配慮型商品の積極的な使用」をお願いし、しっかりとした循環を目指しています。また「商品購入時にごみ減量を考える」ことにも取り組んでいます。

私は現在、組合から出向という形で北区田端にある富士見橋エコー広場館に常駐しております。

エコー広場館の取り組みを2つご紹介します。

1つ目は子どもたちへの教育。

リサイクルや環境問題に特化した資料室を作りました。ここには子どもでも手に取りやすい絵本、FSC認証マークを取得している木のおもちゃ、リサイクルコルクで作られた積み木等、直接手にふれて興味を持ってもらえるような工夫をし、絵本の読み聞かせなども行なっています。夏休みには自由研究の参考にと多くの子どもが来てくれました。

資料室にある展示品

2つ目は資源循環の再構築。

日本は、ごみの分別・回収・資源化までは世界レベルであると私は思っています。しかし、問題はそのあと。

強みになるのは地元のリサイクル現場に長く携わってきた経験です。区民にきめの細かい周知啓発をおこなうには、知恵と経験が必要です。そういった場で仕事ができる事、区に指名される事は先人たちが積み上げてきた努力の賜物だと感謝しております。

エコー広場館の取り組みは必然です。その時、組合として何を仕事にできるのか？

編集後記

信じられないくらい一気に寒くなりましたね。2023年の夏は、1989年の統計開始以降、平均気温、平年差が最高を記録したそうです。最高気温30℃以上の真夏日が64日間続き35℃以上の猛暑日は22日間続きました。

夏の疲労と、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」になり感染対策が緩くなったせいなのか、たたみかけるように色々な病気が流行しています。感染症予防と栄養補給をしっかり行い、コンディションを整えて年末も乗り越えていきたいものです。（水野）

東多摩再資協創立30周年記念安全大会

東多摩再資源化事業協同組合（吉浦髙志代表理事）が創立30周年を迎え、9月22日、東村山市中央公民館ホールに於いて、創立30周年記念安全大会を開催した。記念式典だけではなく、安全講習会の開催や安全スローガンの唱和など、チーム東多摩一人一人が安全に対する意識を確かめ合った。

東資協　11・12月の行事予定

11月	2日（水）	総務委員会
	10日（金）	多摩拡大理事会
	24日（金）	青年部会
	28日（火）	広報委員会 業務委員会
12月	1日（金）	総務委員会
	8日（金）	財務委員会 理事会
	19日（火）	広報委員会 業務委員会
	22日（金）	青年部会

【異動】

▽脱退
新宿支部　田口金属株式会社

古紙３品目他の標準売値

10月13日発表
（￥／kg）

品目	標準売値	集団回収 標準仕切価格
新聞	６～１１	＊～０
雑誌	２～５	＊
段ボール	５～８	＊～０
古繊維	１～６	－
びん	－	＊
アルミ缶（ばら）	１００～１４０	－

※助成金または逆有償が必要です
（※古紙三品目の標準売値は2023年9月26日時点での値です。）

伊藤忠商事グループエネルギー商社
伊藤忠エネクス株式会社
～社会とくらしのパートナー～
AdBlue®
ポスト新長期排出ガス規制対応
高品位尿素水

1KLコンテナ　200Lドラム　20L,10Lボックス　5Lポリ容器
その他、リース(車),電気,PCB　なども取り扱っております！
お問い合わせは事務局まで⇒TEL:03-3263-3676

荒川区リサイクル事業協同組合

理事長　大久保　信隆
専務理事　中嶋　孝夫
監事　栗原　正雄
監事　上村　敏雄

〒１１６－００１４
東京都荒川区東日暮里一丁目４０番４号
ＴＥＬ（０３）５８５０－４５６１
ＦＡＸ（０３）５８５０－４５７０